

## ■ 放流警報施設（魚切ダム）

魚切ダムではゲート操作により下流河川に流す水量を調節していることから、ダムから下流の河川水位の変化は各地点での天候や降雨状況と河川水位の上昇下降状況が必ずしも一致しない場合もあります。そのため、放流開始のお知らせ放送やゲート放流中の表示を警報局で行います。

また、計画規模を超える異常洪水でダムが満水となり流れ込む水をそのまま通過させる状態になる恐れがある場合には、サイレンの吹鳴と警戒放送を警報局から行います。



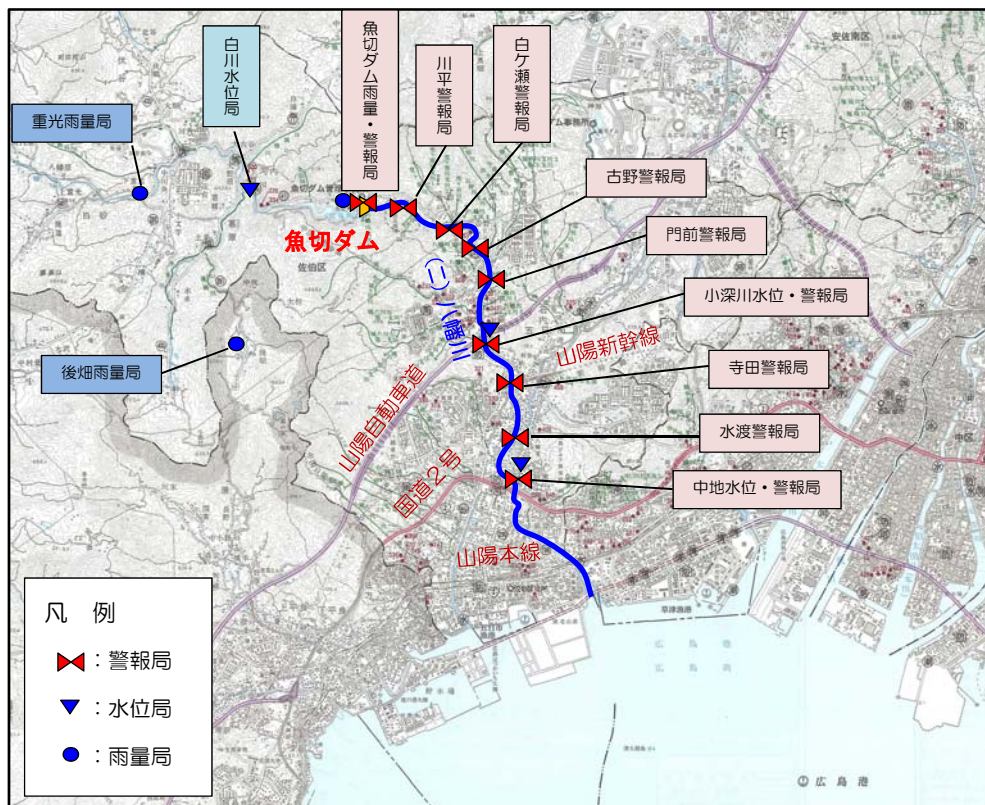
通常時の警報局（古野警報局）



放流表示中の警報局

※ 警報局の回転灯が点灯し『放流中』表示を掲出している時には、ダム上流河川の状況にあわせたゲート操作を行っています。そのため、放流量が増えた場合には河川の水位が徐々に上昇します。

警報局周辺の天候状況や河川水位から、安全そうに思えても『気付かないうちに河川水位が上がって河川内に取り残される』などの事故につながる危険がありますので、『放流中』表示が出ている時には河川内に入らないようお願いします。



警報局等位置図

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号 平28中複、第22号）

## ■ 放流警報施設（梶毛ダム）

梶毛ダムの洪水調節方式は『自然調節式』と呼ばれゲートによらず放流量を調節できることから、大型の機械設備に関するランニングコストが縮減できる反面、非常にまれな特定の条件が重なった場合には放流量が急激に増えダムから下流の河川水位が急に上昇してしまうことがあります。

また魚切ダムと同様、計画規模を超える異常洪水でダムが満水となり流れ込む水をそのまま通過させる状態になる場合があります。

このような場合には、サイレンの吹鳴と警戒放送を警報局から行うとともに警報局の回転灯を点灯します。



免出警報局

※ 警報局の回転灯が点灯している時には、付近の河川が非常に危険な状態となっていますので、河川には近づかないようお願いします。



警報局等位置図

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平28中複、第22号)